

# 7

## 文化力で岡山の誇りを高める



### 都市づくりの基本方向

都市の文化は市民の誇りです。

そして、文化は市民の心を豊かにし、  
都市の品格を高めます。

文化を高めるために、

市内に数多くある文化資源をいかし

魅力的な文化空間をつくとともに、

市民が身近な場所で豊かな文化を実感できる  
環境づくりを進めます。

さらに、本市の光り輝く資源に磨きをかけ、  
外に向かって発信します。

# 7 文化力で岡山の誇りを高

## 背景と課題

人・もの・情報がグローバルに動き、変化の激しい時代は、むしろ、自らのアイデンティティを求めて地域文化を再認識する時代でもあり、その都市にしかない独自性と魅力を形成することが求められています。

こうした中、古代吉備の昔から積み重ねられてきた本市の豊かな歴史・文化遺産の保存・継承とその積極的な活用を図り、地域のアイデンティティを高めることが重要です。

また、地域の歴史資源や先人の事績等の再認識とブラッシュアップ、情報発信を通じ、地域への誇りと愛着を醸成していく必要があります。

日常的な生活の場において地域の伝統や文化に根ざした豊かな生活文化を楽しみながら自己実現を図る環境づくりが重要です。

まつりやプロスポーツを盛り上げながら市民の一体感を高めるとともに、国際観光・広域観光につなげる仕組みづくりが必要です。

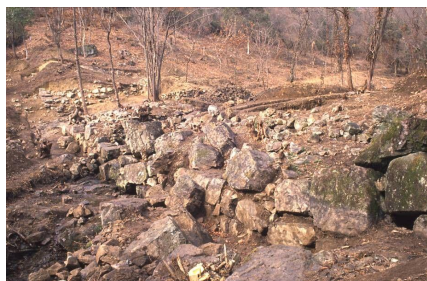
国指定史跡市町村順位

1位	京都市	56件
2位	鎌倉市	32件
3位	奈良市	29件
4位	松江市	22件
5位	明日香村	20件
6位	岡山市	18件
7位	大津市	17件
8位	福岡市	12件
	堺市	
	萩市	

岡山市調べ(平成20年度)



大廻・小廻山



大廻小廻山城跡

# める

## 推進すべき政策・施策

次の3つの政策(プロジェクト)により、主に文化分野における都市づくりを推進します。

### 1 魅せる歴史と文化プロジェクト

都市の品格を磨き、  
誇りと愛着を育む



岡山カルチャーゾーン<sup>1</sup>の魅力向上

歴史文化資源の保存と活用

市民の誇りを創造する

世界遺産<sup>2</sup>登録をめざす取組

### 2 生活に文化を楽しむプロジェクト

文化を通じて市民の  
心を豊かにする



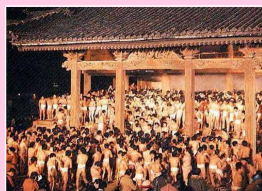
多彩な文化交流の促進

芸術文化の新たな担い手の育成

市民文化の振興

### 3 岡山の光を発信するプロジェクト

地域資源を磨き、  
その魅力を  
広く紹介する



魅力的な観光資源の創出・発信

人にあたたかい観光の環境づくり

国際観光・広域観光の推進

<sup>1</sup> 岡山カルチャーゾーン:岡山後楽園や岡山城などの周辺地域で、個性あふれる歴史・文化施設が集積している一帯。

<sup>2</sup> 世界遺産:1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)に基づいて、世界遺産リストに登録された遺跡や景観そして自然など、人類が共有すべき普遍的な価値をもつもの。

# 1 魅せる歴史と文化プロジェクト

都市の持つ文化は、歴史、風土と人の営みから育まれてきた個性であり、その独自性を表すものです。

岡山には原始時代、古代吉備の昔から積み重ねられてきた豊かな文化の歴史があります。

吉備津神社や岡山城、後樂園をはじめとした文化財を

岡山の誇りとして後世の人々に確かな形として引き継いでいきます。

## 岡山カルチャーゾーン<sup>1</sup>の魅力向上

岡山城、後樂園をはじめ、美術館など全国に誇りうる文化の集積エリアであり、また、観光やアフターコンベンション<sup>3</sup>の資源である岡山カルチャーゾーンの魅力向上を図ります。

このため、収蔵品のわかりやすい展示、特別展、講演会や様々な催しの開催、研究成果の公開など、各施設の質の向上と開かれた運営に努めるとともに、各施設間を有機的につなぎ、回遊できる文化空間の形成をめざします。



オリент美術館

## 歴史文化資源の保存と活用

史跡や有形、無形の文化財を大切に保全し、確かな形で次代へ継承していきます。このため、岡山の顔であり、まちのルーツである岡山城跡の城郭としての歴史的環境を整備し、その再生・保全を進めるとともに、周辺整備や有効利用を図ります。

また、古代の面影を今に伝える吉備路をはじめ、彦崎貝塚、賞田廃寺跡や大廻小廻山城跡など貴重な文化財の調査と保全に努めます。

そして、それらを歴史文化資源として学校教育や生涯学習、観光などに積極的に活用します。



文化財調査現地説明会(岡山城跡)

## 市民の誇りを創造する

岡山の誇りや地域文化のすそ野を広げるため、一流の芸術文化にふれる機会を増やすとともに、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治の優れた業績を称える坪田譲治文学賞<sup>4</sup>を大切に育てます。そして、内田百閒、国吉康雄をはじめ郷土の偉人たちを広く紹介します。

また、市の荣誉でもある優秀スポーツ選手を激励・表彰するなど、市民のみんなの情熱でプロスポーツを岡山のシンボルに育てるよう取り組みます。



坪田譲治文学賞



ファジアーノ岡山サポーター

## 世界遺産<sup>2</sup>登録をめざす取組

後世に引き継ぐべき人類の普遍的な価値を有する国特別名勝岡山後楽園、国史跡岡山藩藩学、県史跡倉安川吉井水門などの世界遺産登録に向けた市民の盛り上げを核として、市内にある多くの史跡や文化財の価値への理解を深め、地域のアイデンティティと岡山の歴史文化に対する市民の誇りが高まる取組を促します。



造山古墳

## 成果指標

指標名	基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
岡山カルチャーゾーンを訪れた人	273万人	290万人	300万人	330万人
文化財の親しみ度	57,030人(H18)	65,000人	68,000人	70,000人

1 岡山カルチャーゾーン：P87の脚注参照。

2 世界遺産：P87の脚注参照。

3 コンベンション(convention)：特定の目的で多数の人が集まること。会議、学会、見本市、展示場、博覧会、スポーツ大会、発表会など。

4 坪田譲治文学賞：岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた、岡山市名誉市民の故坪田譲治氏のすぐれた業績を称えるとともに、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資することを目的として、昭和59年12月に制定された文学賞。

## 2 生活に文化を楽しむプロジェクト

文化は、人の心を豊かにするだけでなく、  
都市に活力とにぎわいを与えます。  
このため、市民とともに様々な文化を育て  
新たな担い手を育成するとともに、  
市民みんなが日常生活の中で  
豊かな文化を実感できるような取組を進めていきます。

### 多彩な文化交流の促進

音楽祭、芸術祭、岡山フィルハーモニック管弦楽団の公演などを通じて、芸術文化への関心と創作の芽生えを促し、交流と参加のすそ野を拡大しながら、芸術家と市民、芸術家相互の交流を図ります。

また、全国に情報を発信し、幅広い文化交流と芸術文化活動の一層の振興に努めます。



岡山フィルハーモニック管弦楽団・第九合唱団

### 芸術文化の新たな担い手の育成

岡山市ジュニアオーケストラの育成をはじめ、芸術文化の新たな担い手を育成するとともに、芸術家、文化創造団体に対する創作の場の提供に努めます。

また、個人や企業が文化を支援することを社会全体として評価する気運の醸成を促します。



岡山市ジュニアオーケストラ

# クト

## 市民文化の振興

市民の手による自由で多様な芸術文化活動を振興するため、公共的な施設やギャラリーなどを活用した発表の場や鑑賞機会の充実を図るとともに、公民館など学習・文化施設における活動を振興し、市民が日常生活の中で文化にふれ、親しむことができる環境づくりを進めます。  
また、地域に伝わる祭りや民俗芸能など郷土文化の継承、発展を促します。



いけばな展



水墨画展



## 成果指標

指標名	基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
文化振興・歴史保存活用の満足度	28.5%	30%	32%	40%
市民の文化活動参加度	8.45%	20%	20%	20%

# 3 岡山の光を発信するプロジェクト

観光の語源は、「国の光を観る<sup>5</sup>」ことです。

市民がその地に誇りを持ち、幸せを感じる時に、その地域は光り輝きます。

観光の醍醐味は、その地域で最も光り輝く質の高い資源にふれることです。

日本創生期から拓けた岡山の自然や歴史文化の中から

光り輝く資源を発掘し、磨き、魅力を高め、日本だけでなく世界へ向けて発信します。

## 魅力的な観光資源の創出・発信

岡山の質の高い地域資源を発掘し、それらをストーリー化、ルート化することにより、魅力的な滞在型観光の創出を図ります。

また、吉備路や岡山城・後樂園一帯のカルチャーゾーン、西大寺はだかまつり、おかやま桃太郎まつり、おかやま国際音楽祭、犬島アートプロジェクト<sup>6</sup>、さらに、岡山の豊かな食などを岡山の魅力として全国に情報発信します。

あわせて、ターゲットを絞った戦略的な情報発信など、豊かな文化資源を観光や産業にいかす仕組みづくりに努めます。



岡山城太鼓物語

## 人にあたたかい観光の環境づくり

関係団体等と連携し、訪れる人にわかりやすく快適な観光を提供するという視点から、きめ細かな観光情報の提供など観光客の受入体制の充実や交通アクセスの見直しを含めた観光関連施設の整備を図ります。

また、観光ボランティアの育成や観光地の美化推進など、訪れる人をあたたかくおもてなしするホスピタリティ<sup>7</sup>の醸成をめざします。



観光ボランティアガイド



# クト

## 国際観光・広域観光の推進

中四国の交通結節点という地の利をいかした広域観光を推進し、他都市と連携した戦略的な観光の展開を図ります。

また、国際空港としての岡山空港を起点として、ミシュランで高い評価を受けた後樂園の魅力をかきながら、海外からの観光客の誘致とその受入体制の整備に努めます。



後樂園



うらじゃ踊り



備前ばらずし

## 成果指標

指標名		基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
岡山の魅力発信度	(年間観光客数)	425万人	465万人	515万人	570万人
	(年間観光消費額)	20,039百万円	21,925百万円	25,750百万円	28,500百万円
観光ボランティア数		201人	240人	290人	500人

5 国の光を観る：「観光」の語源は、中国の古典『易経』の「観国之光、利用賓于王」（国の光を観るは、もって王の賓たるによるし）にあるといわれている。

6 犬島アートプロジェクト：今後犬島全体で展開が予定されているアートをテーマにした民間プロジェクト。2008年4月に第1期として公開された「精錬所」は、建築・現代アート・環境による新たな地域創造のモデルとして循環型社会を意識したプロジェクト。

7 ホスピタリティ(hospitality)：英語で「おもてなし」、「歓待」、「厚遇」という意味。訪れる人へのおもてなしの心。

